



つなげよう、
日本。



JR東日本

《上野駅》

上野の森コンサート

2011年10月21日(金)～23日(日)

開催場所 上野駅ガレリア(正面玄関口) **入場無料**

デュオ・リサイタル

ヴァイオリン = 大谷康子
ハープ = 篠崎史子

クライスラー「愛の喜び」
ルスト「ソナタ」
サン＝サーンス「ファンタジー」
マスネ「タイスの瞑想曲」
アラール「椿姫ファンタジー」／他

公開リハーサル(16:00～)を予定しております。

10/21(金)
18:00～
19:00

《仙台駅》

杜の都コンサート

仙台フィルハーモニー管弦楽団

2011年11月4日(金)～6日(日)

開催場所 仙台駅2階ステンドグラス前 **入場無料**

仙台フィルハーモニー管弦楽団

指揮 = 関谷弘志
ソロヴァイオリン = 伝田正秀
お話 = 池辺晋一郎

池辺晋一郎のドラマ・映画音楽
「独眼竜政宗」「黄金の日日」
「峠の群像」「影武者」
日本のメロディ(池辺晋一郎編曲)
「荒城の月」「ふるさと」「赤とんぼ」
チャイコフスキー「ヴァイオリン協奏曲」～第1楽章

公開リハーサル(15:30～)を予定しております。

11/4(金)
18:00～
19:00

ハーモニカ・リサイタル

ハーモニカ = 比嘉 祥人
ピアノ = 田中 葵

ドヴォルザーク「ユーモレスク」
エルガー「愛の挨拶」
日本の歌～「ふるさと」「朧月夜」
沖縄の歌～「えんどうの花」
「芭蕉布」「ていんさくめ花」
ハーモニカオリジナル曲～「トレド」／他

公開リハーサル(14:00～)を予定しております。

10/22(土)
16:00～
17:00

マリンバ・パーカッション
リサイタル

マリンバ = 安江佐和子
ピアノ = 加藤真一郎

アンダーソン「フィドル・ファドル」
アイルランド民謡「ロンドンデリーの歌」
池辺晋一郎「タン布林とピアノのための小品」
日本の四季(ふるさと～夏は来ぬ～我は海の子
～村祭り～もみじ～ふるさと)
ササス「マトルズ・ダンス」
ブルガリア民謡「告白」
モンティ「チャルダシュ」

公開リハーサル(14:00～)を予定しております。

10/23(日)
16:00～
17:00

仙台フィルハーモニー管弦楽団

指揮 = 関谷弘志
お話 = 池辺晋一郎

ミュージカル映画音楽(池辺晋一郎編曲)
「雨に唄えば」「トゥナイト」「南太平洋」
日本のメロディ(池辺晋一郎編曲)
「椰子の実」「この道」「浜辺の歌」
ドヴォルザーク「交響曲第9番 新世界より」
～第4楽章

公開リハーサル(13:30～)を予定しております。

11/5(土)
16:00～
17:00

仙台フィルハーモニー管弦楽団

指揮 = 関谷弘志
ソロヴァイオリン = 伝田正秀
テノール = 佐藤淳一

伊福部昭 映画「ゴジラ」の音楽
サラサーテ「ツィゴイネルワイゼン」
新井満(訳詞・曲)「千の風になって」
コルディフェッロ(詞)／カルディオ(曲)「カタリ・カタリ」
リスト「ハンガリー狂詩曲 第2番」／他

公開リハーサル(13:30～)を予定しております。

11/6(日)
16:00～
17:00



東日本鉄道文化財団では作曲家の池辺晋一郎氏を音楽監督としてお迎えし、2006年より年に2回、春と秋に上野駅「上野の森コンサート」、仙台駅「杜の都コンサート」を実施しております。「日々多くの人々が行き交う駅を舞台に、誰もが気軽に音楽を鑑賞できるコンサート」を合言葉に、

クラシック音楽を中心にしながらも、ジャンルを超えて様々な音楽をお楽しみいただいております。開催回数はこれまで「上野の森コンサート」27回、「杜の都コンサート」38回を数えております。本年も下記日程で開催を予定しておりますのでぜひお立ち寄りくださいませ。

上野駅 上野の森コンサート

2011年10月21日(金)～23日(日)

10月21日(金) デュオ・リサイタル



大谷 康子(ヴァイオリン)
©尾形正茂

人気・実力ともに日本を代表するヴァイオリニスト。東京藝術大学、同大学院博士課程修了。全日本学生音楽コンクール第1位。シェリング来日記念コンクール第2位。国内外でのリサイタル、オーケストラのソロなど活躍中。テレビ朝日「題名のない音楽会」は300回以上最多出演。CD多数。東京交響楽団ソロ・コンサートマスター、東京音楽大学教授。使用楽器は1708年製ピエトロ・ガラルネリ。来年5月12日サントリー大ホールでリサイタル予定。http://www.yasukohtani.com/



崎崎 史子(ハープ)
©満田聡

桐朋学園大学を首席で卒業。J.モルナール氏に師事。後、アメリカに留学し、M.グランジャーニ、M.ディリングの各氏に師事。1973年小澤征爾指揮のベルリン・フィル定期演奏会に出演の他、ヨーロッパの各フェスティバルに出演。また、サウンド・スペース・アークのメンバーとして1978年以降アメリカ、ヨーロッパ等の主要音楽祭に参加。その後も、ソリストとしてニューヨーク、アスペン等で演奏するほか、イスラエル国際ハープ・コンクール、ジュネーヴ国際コンクールの審査委員を務める。

10月22日(土) ハーモニカ・リサイタル



比嘉 祥人(ハーモニカ)

2000年より世界的ハーモニカ奏者の和谷泰扶氏に師事。2004年、F.I.H.JAPANハーモニカコンテスト第1位及び総合グランプリ受賞。以降、05年ワールド・ハーモニカ・フェスティバル第2位、06年アジア・太平洋ハーモニカ大会第2位、07年日本ハーモニカ賞「奨励賞」を受賞。現在は沖縄を拠点に演奏活動を行っている。



田中 葵(ピアノ)

国立音楽大学卒業。在学中よりアンサンブル活動に積極的に取り組む。現在はヴァイオリン・パーカッション・ピアノによるユニット「MODEA」のメンバーとしても活動。その他、イ・ビョンホン来日ライブの楽曲アレンジや、リットーミュージック出版の「クラシック名曲50選」などの録音、アレンジ分野でも活躍の場を広げている。

10月23日(日) マリンバ・パーカッション リサイタル



安江 佐和子(パーカッション)

桐朋学園大学卒業、同研究科修了。'95よりサイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとして活動。小澤征爾指揮ヨーロッパ公演等ティンパニー奏者として出演。'02文化庁芸術家海外研修員としてベルリンへ留学。'04～'07東京フィルハーモニー交響楽団打楽器奏者。その活動はソロ、室内楽、オーケストラと幅広く、繊細なアンサンブルの技術とセンスを持ち合わせ、古典から現代作品まで様々なレパートリーをもつ。"リズムを超えた色彩のパーカッション"として独自の世界を展開する。



加藤 真一郎(ピアノ)
©Marco Borggreve

桐朋学園大学作曲専攻卒業。瀬尾久仁とのピアノデュオでドイツへ留学。ロストック音楽大学、ミュンヘン音楽大学修了。文化庁在外研修員としてA・コンタルスキー教授のもとで研鑽を積む。ピアノデュオの最高峰であるマレイドラノフ国際2台ピアノコンクール(マイアミ)で日本人デュオ初となる第1位を受賞。作曲家としては2003年芥川作曲賞にノミネート。現在、国立音楽大学(ピアノ)、桐朋女子高等学校音楽科(音楽理論)非常勤講師。http://www.seokato.com/

仙台駅 杜の都コンサート 《仙台フィルハーモニー管弦楽団》

2011年11月4日(金)～6日(日)



仙台フィルハーモニー管弦楽団

1973年、市民オーケストラ「宮城フィルハーモニー管弦楽団」が誕生。89年4月、「仙台フィルハーモニー管弦楽団」と改称。06年4月より、新しい「仙台フィル・サウンド」の創造を目指し、常任指揮者にバスカル・ヴェロ、首席客演指揮者に小泉和裕、指揮者に山下一史が就任。09年4月より、山下一史が正指揮者に就任した。その公演活動は、東日本を中心に年間120回以上に及ぶ。09年には、映画「劔岳点の記」(音楽監督池辺晋一郎)の演奏を担当し、大きな話題となった。



関谷 弘志(指揮) ※全日出演

東京音楽大学指揮科卒業。仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者、並びにオーケストラアンサンブル金沢専属指揮者を歴任。国内外のオーケストラに多数客演。リスボン国際指揮者コンクール入賞。プロコフィエフ国際コンクール並びにカトビツェ(ポーランド)国際コンクールにおいてディプロマ賞受賞。



池辺 晋一郎(お話)
※11月4日、5日出演

東京芸術大学卒業、同大学院修了。66年日本音楽コンクール第1位。以後、尾高賞2度、日本アカデミー賞優秀音楽賞9度(内、3度最優秀賞)など多数受賞。04年紫綬褒章受章。現在、東京音楽大学教授、東京オペラシティ・ミュージックディレクター、石川県立音楽堂・洋楽監督、横浜みなとみらいホール館長、せたがや文化財団音楽事業部音楽監督。作品は交響曲(全7曲)の他、オペラ、管弦楽曲、室内楽曲、合唱曲など多数。附帯音楽分野でも、「影武者」「楳山節考」「瀬戸内少年野球団」などの映画や、放送、演劇の音楽を多数担当。



伝田 正秀(ヴァイオリン)
※11月4日、6日出演

3歳から父の手ほどきによりスズキメソッドでヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール全国大会1位、日本クラシック音楽コンクール全国大会全部門グランプリ、JILA音楽コンクール第1位、日本音楽コンクール第2位などを受賞。ウィーン国立音楽大学、ウィーン市立音楽院室内楽科に留学。2006年より仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、2011年よりゲストコンサートマスターに就任。ヴァイオリンを伝田充正、掛谷洋三、G・Badev、G・Pichlerの各氏に、室内楽をアルテンベルクトリオに師事。



佐藤 淳一(テノール)
※11月6日出演

東京芸術大学声楽科卒業。同大学院修士課程修了。在学中より藝大バウハカンタークラブにおいて小林道夫氏指導のもと、多くのバウハ作品を演奏する。1990～91年とドイツ・ミュンヘンへ留学。アダルベルト・クラウス氏に師事し、宗教音楽を中心に研鑽を積む。92年より仙台オペラ協会のメンバーとなり、主要な役を歌い演じている。現在、尚絅学院大学表現文化学科教授。仙台オペラ協会演奏部会員代表ならびに芸術監督、宮城県合唱連盟副理事長。平成7年度宮城県芸術選奨新人賞、平成16年度宮城県芸術選奨受賞。